

平成29年度高知県小規模林業推進協議会第2回協議会「現地検討会」議事録

- 日 時 平成29年11月16日（木） 13時30分～16時00分
- 場 所 仁淀川町立中央公民館（仁淀川町大崎460番地1）
- 実践現地研修(場所：(株)明神林業 施業現場)
- 出席者 76名

1 開会

2 会長挨拶

(中嶋会長)

仁淀川町の上名野川の地域というのは、小規模な林業、自伐型で展開する方が多くて、今でもどんどん増えています。特に、今日お世話になる明神林業の片岡博一さんは、平成19年ぐらいに社長になって、この地域で精力的に施業をされています。

どういう感じでやっているかという、小さい機械を使って、小さい道を付けて、間伐をして、持続可能な施業をしているのが特徴です。その辺りを見てもらえればと思います。

3 実践現地研修

(場所：(株)明神林業 施業現場)

(事務局)

それでは、現地の検討会を始めたいと思います。

まず、本日の講師のほう御紹介させていただきます。明神林業の片岡社長さんです。

(片岡社長)

どうも遠いところお越しいただきまして、ありがとうございます。今日は自分たちがやっている現場を見てもらおうと思いますので、よろしくお願いします。

(事務局)

それでは、中嶋会長のほうから進行をお願いします。

(中嶋会長)

では、早速ですが、片岡さん、案内してもらえますか。

(片岡社長)

ここは、地主さんがもう寝たきりになって、息子さんが面倒みてますが、入院費用をおじいさんが残してくれた山の木を切って賄ってほしいと言われましたので、大きい木を切って中間の木は残してる状態になっています。我々は、お客さんの事情にあわせて間伐のやり方を変えています。場所を移動しましょう。

私が11年前に林業をやり始めた時は、3トンのユンボとグラップル、1トンの林内作業車しかありませんでした。それを少しずつ買い足していき、現在は、ここに見えるくらいの機械を保有しています。

この現場で見てもらいたいのは作業道です。必ずスイッチバックの場所は、高さを上げています。なぜかという、スイッチバックのところで、水を逃がすためです。1カ所に集中しないように。これによって道が長持ちします。台風明けでも、私たちは作業道を直して現場へ入るといことは、今まで数回しかありません。

水を最終的に流す場所は平らところがいいんです、全体的に流れてくれるから。ただ都合良くいかない場合もあります。けど基本的には、水はけをどのようにしておくのかということイメージして作業道をつくっています。ちょっとおりましたら。

ここは放置された山です。枯れ木が多いです。20%ぐらいは枯れていると思います。切り捨てをしてるように見えますが、これは枯れて倒れています。だから放置された山が、いかにこのアンバランスな状態で成長してしまうのかわかります。切ってみても、中腐れが多いです。せっかく大きく育ってるのに、中が腐っている。やはり手を入れて適切に管理しないと、せっかく成長した良い木でも製品としては売れません。適切な時期に適切な間伐をするべきだと思います。

何か質問は。

(出席者)

中が腐ってるかどうかというのは、切ってみないとわからないものですか。

(片岡社長)

わからないことが多いです。あと、中が腐ってる木というのは、表面がぼこぼこになっているんですね。

(出席者)

造材作業は2人でやっていますか。

(片岡社長)

いや、本当は1人がいいと思います。なぜなら、2人作業では事故が多いんですよ。大きい木を造材するために持ち上げてしまうと、枝で見えなくなることがあります。すると、グラップルで握ったつもりが、向こう側に玉切りしてくれる人がいた場合、その人に当たってしまうことがあります。ですので、基本は1人で引っ張るようにしています。

(出席者)

スギの木が滑り落ちることはないんですか。

(片岡社長)

もちろんあります。これぐらいの角度が限界です。これ以上になると、滑り落ちる可能性があるんで、若干斜めに切るとか。時と場合によりますが、上向きに切ることもあります。

(出席者)

支障木って、収穫材積の何割ぐらいありますか。

(片岡社長)

どれぐらいでしょうね。15%ぐらいじゃないですか。そんなになんないと思います。ただこの作業道の幅は2.5メートルなんで、もう少し支障木はあると思います。普段は2.2メートルの道です。

なぜ2.2メートルかという、作業道の補助を受けようとする、2.2メートルと決まっているからです。

でも、山主さんは作業道をつけるのを嫌います。山が作業道ばかりになったとか、そういう話も良く聞きます。ですので、できるだけ作業道は狭くしようとしています。

(出席者)

材はどのくらいの頻度で出していますか。

(片岡社長)

毎日です。5時に仕事が終わってから、私が市場まで運んでいます。

(中嶋会長)

どうもお疲れさまでした。明神林業の片岡さん、今日はありがとうございました。今日の片岡さんのお話を聞いて、参考にできる部分は是非やってみてほしいと思います。片岡さんは高性能林業機械を保有してますが、小規模な林業を始めようとする方は、まずはコストのかからないユンボとか林内作業車を使っただきたいと思います。1トンでも十分に材は出ますし、収入になります。

それから水処理のお話がありました。これは非常に重要なことです。壊れない作業道をつくる時は、水はけを良くすることが大事です。

いろんな多様性があるいいのではないかと思います。前回、現地研修をした谷岡さんのやり方と今日の明神林業さんのやり方は、随分違っています。自分に合っているところを、参考にさせていただければと思います。

こういった山奥でも、林業でたくさんの若者が就業しています。小規模な林業に魅力を感じていただければと思います。今後も現地研修などを通して、勉強していきたいと思えますので、よろしくをお願いします。

本日は、寒い中、お疲れさまでした。ありがとうございました。